

在ブダペスト  
日本人会会報

# ドナウ通信

平成9(1997)年

春季号

No. 31

## 目 次

会社紹介	3
補習校便り	5
婦 人	9
隨 想	11
文 化	20
ス ポーツ	24
掲示板	28

## 「汎ヨーロッパ・ピクニック」祝典への呼びかけ

第二次世界大戦の戦勝国はヨーロッパを二分割しました。西側の利害調整区域と、ソ連の権力下に組み込まれた東欧諸国とのあいだには、「鉄のカーテン」が敷かれました。「鉄のカーテン」を挟んで、完全武装した軍隊とロケットが相互に対峙してきました。軍事的に敵対する二つの陣営は、40年間にわたって大陸の人々を相互に隔離させ、敵対させることになりました。東西に引き裂かれたドイツ、悪名高きベルリンの壁、何千キロにもわたって敷設された鉄条網と地雷原はたんにヨーロッパの恥辱であつただけでなく、第三次世界大戦の危機を暗示するものでした。1980年代初頭には、ヨーロッパには広島を破壊した百万倍以上の原子爆弾が配置されていました。人類の将来と存続を危惧する人々は、これらのロケットが発射されれば、ヨーロッパのみならず、地球上のすべての生命を滅ぼしかねないことを警告していました。

1989年春、ハンガリー政府は西部国境を隔てる「鉄のカーテン」を、ヨーロッパ諸国の先頭を切って、撤去することを決定しました。1989年8月19日、ショプロン市近郊で開催された「汎ヨーロッパ・ピクニック」によって国境の一部が開放され、二つに引き裂かれたヨーロッパに自由往来の道を開くことになりました。数時間のうちに、この開放された国境を通って、数百の東ドイツ人がハンガリーからオーストリアへ抜け、数十年ものあいだ離ればなれになつた家族や同胞が待つ西ドイツに向かったのです。この感激的な事件を契機に、ハンガリーとドイツの新たな歴史時代、相互理解と相互扶助の時代が始まりました。1989年8月19日のショプロン近郊の出来事は、民族の平和と自由に貢献したものとして、われわれにとって忘れることのできないものとなりました。

ショプロン市は毎年、この歴史的な出来事を記念しており、本年もまた、この記念日を祝う多くの文化行事を企画しています。記念行事の一つとして、ハンガリーと日本の音楽家の参加を得て、フェルトゥーラーコシの洞窟劇場でベートーベンの第9番交響曲の演奏を予定しています。音響効果が素晴らしい、荘厳に構築された洞窟ホールは祝典コンサートとしてふさわしいものです。

平和と自由を祝うドイツ、オーストリア、日本、ハンガリーからの客人が、ホスピタリティー豊かなショプロン市の行事をさらに盛り上げてくれるものと確信しています。記念行事の成功のため、ショプロン市民は必要な負担を請け負う所存ですが、さらに多くの方々から物的・精神的な助力がいただけることを願うものです。

記念行事の実現のため、国内外の友人、個人、機関にたいして、いっそうのご支援をここに呼びかけるものです。皆様のご支援をいただきますよう、祝典組織委員会を代表し、重ねてお願いする次第です。

# 会社紹介

90年代は設備投資案件が減っていることが顕著です。

当社の中東欧ビジネスでは中身は変わっています。今も昔もブダペストが中核となつております。プレゼンスももつとも高くこの伝統と実績を継続したいと思っています。

現在の陣容は日本人4名（天野、松山、鴻上、青木）、現地職員10名で対日輸出入、三国間取引、投資案件にチャレンジしています。92年に農業部門を切離し、販売会社SUMMIT AGRO HUNGARY（工藤社長、従業員11名）を、95年8月に日産車の販売会社SUMMIT MOTORS HUNGARY（橋本社長、従業員19名）を設立、順調に業績を挙げています。96年8月にセーケシュフェヘルバール近くのモール市にワイヤーハーネスの製造販売会社SUMMIT KFT（中村社長、大隅部長。従業員約280名、販売先マジャール・スズキ社）を住友電工・住友電装とともに設立しました。今後もチャンスがあれば事業進出を考えています。折角のハンガリー駐在なのでその歴史と文化を楽

## 住友商事ブダペストと関係会社

天野 泰次

古い記録をみると1971年にハンガリーの公団と合併でハンガリーハ蜜（株）を東京に設立しています。74年にブダペストに事務所を開設、今年で23年目になります。その間インターロン（現マリオット）→ゲルトルホテル→ヴァーチ通り19→21番地に事務所を移しています。

87年ベレストロイカで経済自由化策が導入された頃から商売のやり方が変わりはじめ、現地職員の数も増えていきます。70・80年代は金額はともかく钢管、プラント、通信機、自動車、建機、化学品、鉱産物、農産物と総じて今より幅広く商売があつたようです。



# (株)竹中工務店

伊藤 幸広

ク事務所及び倉庫等があります。

さて皆さんタイル割りという言葉をご存知でしょうか。第1ヒント、タイルをこなごなに割ることではあります。正解、タイルの貼り方の研究をすることです。トイレ、洗面所、シャワールーム等の床や壁の仕上げには、通常タイルを使用します。洗面器具、便器、ミラー等の中心がタイルの目地に合えば仕上がりがきれいに見えます。

そのためにタイルの貼り方を計画することをタイル割りといいます。日本の建築では常識となっていますが、ハンガリーアリあるいはヨーロッパの他の国でもまだ一般的にはなっていません。よく気をつけて見ないとわかりませんので、ヨーロッパで暮らしているとだんだん気にならないようになります。ハンガリーで初めて工事をした日本国大

使館の場合、ハンガリーの下請業者にタイル割りの話をしたところ、初めはタイル割りの必要性をなかなか理解してもらえずいっしょにタイル割りの図面を作成し、配管業者やタイル業者に現場で説明しながら施工したところタイル割り通り出来上りました。皆さん今度日本国大使館へ行く機会がありましたら、是非ともトイレのタイルをご覧下さい。もちろんソニーさんのトイレも同様です。

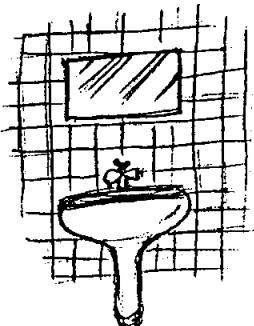
タイル割りを例に上げましたが、その他にもハンガリーでは、日本あるいはドイツでの建築工事の進め方と違う所が多くあります。ハンガリーのいい所は取り入れ、悪い所は変えていこうと下請業者とけんかをしながら仕事をしている毎日です。

今後、日系企業の進出、現地生産がますます活発になることが予想されます。ハンガリーの発展と共に竹中ハンガリーも成長するべく全スタッフ及びハンガリーの下請業者とも協力して頑張りたいと思います。

ハンガリーでは1994年3月に駐

在員事務所を開設し1996年9月に現地法人竹中ハンガリーを設立しました。

ハンガリーでのプロジェクトは、デロー工場、マジャール・スズキ部品倉庫、韓国企業のLGエレクトロニッ



# 補習校便り

朝夕はまだ肌寒く感じますが、日照時間が長くなり、補習校の校庭のタンポポの花も咲きはじめ、春めいてきた今日この頃です。

さて補習校では三月二十二日に卒業式を行い、平成八年度を締め括りました。ここで、平成八年度三学期の行事を中心にはじめ、補習校の様子をお知らせしたいと思います。

まず初めに、年明け一月十一日に大使館をお借りして、恒例のかるた・もとつき大会を行いました。今年のかるた大会は大使御夫妻より特別賞を頂戴し、御夫妻も見守る中、白熱した試合が展開されました。子どもたちも三度目といふことで一層レベルが上がりました。今回は、小学部低学年と小学部中・高学年及び中学部の二つのグループに分け、それぞれのグループの優勝チームが最終的に決勝戦を行い、総合

式で試合を行いました。決勝戦では、取り札同数、ルールに基づき、小学部三年生のチームが優勝しました。準優勝した小学部六年生のチームも昨年は優勝しており、どのチームが勝つてもおかしくな程各学年とも実力が伯仲していました。子どもたちの中からは、早くも来年こそは絶対に優勝するぞという声も聞こえ、来年への意気込みを感じられました。

もちつき大会の方は、駐車場の一角をお借りして保護者の方々の御協力のもと、たくさんのおもちがつきあがりました。この紙面をお借りして、関係する皆様方やお世話になった保護者の方々に改めて御礼申し上げます。

最後に子供たちが今年度作成した文集の一部を抜粋して掲載致します。今年度のテーマは「できるようになつたこと」です。尚、子供たちの作文の後に文集に寄稿した唐澤教諭の原稿も掲載致します。

次に卒業式の様子です。この度、卒業された児童・生徒は、

小学六年生の石黒 聖司くん、可児規子さん、中西 あずささん

中学三年生の可児 啓子さん、佐藤三月くん、センティルマイ テイボールくんです。

ご卒業おめでとうございます。



# ある日突然、階段を上がるよう

平成六年度派遣教員

唐澤 宏

今年のテーマは「できるようになつたこと」でした。

児童生徒のみなさんは、昨日とは違う「今日の自分」をどのように発見したでしょうか。書くことが多過ぎて、どれを書いたらいいのか迷ってしまつたのではないでしょう。それとも済みの中にいるためにかえつて見えにくかつたでしょうか。

自分のことを思い返してみると、できるようになったことの数は小中学校のときが一番多かったように思います。大人になった今でも、新たなことを身につけたいと心の中では思っていますが、一日一日が新しい日であったのはもう遠い昔のことです。

教員になって思うこと、それは毎日を新しく感じる人たちとは、目が生き生きしているということです。今まで日本で接してきた子どもたちも補習校のみなさんも、自分の生活の前向きに取り組んでいるときの姿は、見ていてたいへんすがすがしく感じるものです。

とんど記憶に残っていません。内容よりも、自分で工夫して考えて問題が解けたり、文が書けたりしたときのうれしさや感動の方が心に残っています。また、休み時間に一人で高鉄棒にぶら下がって逆上がりの練習をしたこと、誰より早く跳び箱八段を跳んでやろうと頑張ったこと、満天の星の下で湖の氷が増えていくときに出る不思議な音を聞きながらスケートの練習をしたことなど、自分で「これをやろう」と決めて取り組んだことが心に刻み込まれています。そしてそれらのことは、練習している過程である日突然、偶然のようにできるようになったけれども、自信を持って「できるようになつた」と言えることです。

教員になって思うこと、それは毎日を新しく感じる人たちとは、目が生き生きしているということです。今まで日本で接してきた子どもたちも補習校のみなさんも、自分の生活の前向きに取り組んでいるときの姿は、見ていてたいへんすがすがしく感じるものです。

今日は何があるんだろう。」という気持ちで生活している子どもたちは、そうでない人よりももっとたくさんのことができるようになっているように見受けられます。私が教員になつて何よりもよかつたなと感じるのは、何かができたときに子どもたちが見せる「いい顔」に接するチャンスがたくさんあるということです。一生懸命何かに取り組んで、つまずいて悩み、仲間や親や先生に相談し、自分なりに工夫し、ある日突然に壁を乗り越えたとき、子どもたちは本当にいい顔をします。悩みが深ければ深いほど、壁が厚ければ厚いほど、明るさは増すものです。何ものにもかえがたい笑顔です。みなさんにも思い出に残るよう「できるようになったこと」をたくさん作ってほしいと思います。

残念ながら何年生でどんな漢字を覚えたか、数学の問題がいつ解けるようになったのか、教科書の内容を全部勉強したかどうかなどということは、ほ

年間何を身につけてきたのでしょうか。それらをどう生かしたら仕事に役立てたことになるのでしょうか。それ

らを考えることはみなさんと同様、私に与えられた宿題です。みなさんも海外での生活体験を通していろいろなことができるようになつているはずです。それがみなさんにとってどのようない意味を持ち、みなさんの人生にどのように役に立っていくのでしょうか。

将来、大人になったみなさんと再会できるチャンスがあれば、そのことについて話がしたいです。その日が来るのを楽しみにしつつ、ある日突然「ああ、これだったのか。」と分かる日まで考え続けたいと思っています。

ミツシヨン・ボシブル  
中三 可児 啓子  
なぜ、私たちがこの使命に選ばれたのだろう。その答えは少しずつ私にははっきりしてきた。  
この二年半のハンガリーでの生活は、私を大きく変えた。とくにアメリカンスクールでの生活で得たものはお金に変えられないものだった。それはたぶん私のオピニオンと私の行動である。

ステレオタイプかもしれないが日本人の子供は人にすがって生きている。先生の発問に生徒はいつもビクビクしている。もし答えが違っていたらどうしよう、そしてクラスの皆も変に思うだろう。このように、日本はグループ行動の方が優先である。それに対しアメリカンスクールでの初めてのディスカッションは驚きの数々であった。クラスの皆、一人残らずディスカッションに参加している。その時は友



達も敵だ。ただ自分の意見が通るまであきらめない。この時私は少しとまどった。日本とやり方があまりに異なつていたし、私にはまだ自分の「オピニオン」が身に付いていなかつた。でもそんな気持ちをそつちのけに先生は私の意見を求めた。私は弱々しくやつとのことで「私の考え方」を言つた。聞くと同時に賛成と反対の人々がいっせいに寄つてたかってきた。その時、たぶん私の中で何かがはじけた。それから私は、私もディスカッションを好きになつた。私には私の考え方、意見がありそれを発表することは全然恥ずかしいことではないことをその時私は学んだ。それに言って何か減るものではないし、チャレンジするのも悪くない。  
もう一つ私が学んだことは、私の行動である。アメリカンスクールで、サーキュラーアクティブラティーが初めて行われた時、私は迷いもなくレフュジーエイドとエコロジーを選んだ。レフュジーエイドはハンガリーに来た避難民た

ち、主に子供たちと遊んだり、英語を教えたりするアクティビティで、エ

コロジーは環境を主な課題とするアク

ティビティだった。これまでに、「

ボランティア活動や環境を大切にする

」ということなど考えもしなかったの

に見るみるとそのフィロソフィーやア

イデアに私は取り付かれていた。今

はそのアイデアを日本の小中学校や高

校にも取り入れて欲しいと思う。こん

なさいなことでも人の役に立ち、そ

して環境破壊を少しでも減らすことが

出来るのなら絶対にやりがいがあると

思う。

このような点で、私たち帰国子女は特別な体験をしている。私たちは数ある人の中から選ばれ、人とは少し違った知識をもち世の中に広げていける。

それがどんなちっぽけなことでも自分や世界の人達、そして地球をもつといい方向に導けるのなら私はいいと思う。

なぜ私たちがこの使命に選ばれたのか。あなたならどう答えますか。

## カーデザイナーになら

中三 佐藤 三月

ぼくは小さいころから絵を描くのがすきだった。だからまえは絵描きになろうとおもっていたが、それほどうまくなかったのであきらめた。しかし、このごろまたとても絵に興味を持ち始め、今は暇な時は絵ばかり描いている。あたりまえのことだが、たくさん描いているうちにだんだんうまくなってきた。とくに多いのは車の絵だ。これを始めたころに描いたものをあとから見たら、全然車に見えなかつたが、昔、それがぼくにとつては完璧な自動車の絵だった。

自動車の絵を初めて描いたのは小学校一年生のときだった。そのころぼくは友達と、だれがかっこいい車を描いているか、競争したりしていた。二年生のころまでこうすることをしていましたが、つまらないのでやめてしまい、ぼくは自動車の雑誌などを買い始めた。

その時は友達のまねをして始めたこと

ではあったが、それからやめられず、いまでもその雑誌を買っている。

しかし、初めはただ写真を見ながら、「かっこいいなあ」などと言つていただけだったが、いまは記事を読んで、車の特徴などを一台づつよく調べ、しっかり研究している。その中でいちばん興味があるのはデザインの特徴などである。これはたぶんこのごろのぼくの趣味である、絵を描くことが原因だろう。車の雑誌を見て、いろいろな自動車の特徴をミックスして描くときと、完全に自分で考え出すときがある。ミックスして新車を作りだすときにできた車はできあがると、どういう車にも似てなく、完全に新しく考え出されたのとほとんど同じである。

ぼくは自動車の絵をもつとうまく描けるようになって、いつかはデザイナーになろうと思っている。もちろん今描いている程度では、まだだめだ。しかし、そのうちこの夢は絶対にかなうと思う。

# 婦人

## 私とマールナの会

ムドラーク 黒澤 万知子

長い寒い冬もようやく終ろうとし、暖かい春の日差しが待ち遠しい今日この頃となりました。

私は、このハンガリーで八年目の春を迎えます。私の住んでいるエステルゴムは、ブダペストから少し離れているので時折心細くなることもあります。でも皆様ご存じのように町にはマジヤール・スズキが日本から進出してきており、毎日育児や家事に追われながらも充実した日々を送ることができます。

私も一婦人としてマールナの会に参加させていただいておりますが、会の活動が私の心の支えとなっています。マールナの会が大きな大きな輪になっていくことを願わずにいられません。いわゆる西ヨーロッパの国々に比

べると在留邦人が少ないのでこのような婦人の会の活動が盛んになることを望んでいるのは私だけではないと思います。

ポルナ（小高い丘にある白いチャペル）、ドナウ川沿岸場、バシュカブなど一見に値すると自負しています。機会があれば是非お出掛けください。

ブダペストから家路に向かうとき、

ブダペストから一步出てしまうともう次の町、村まで電灯のない真っ暗な道を車のライトだけが頼りに走っていると寂しくなってしまい、つくづくブダペストはいいなと思うことがたびたびあります。とくに日の短い冬などは気分が落ち込み気味になります。

肉屋で売っているハンガリーのベーコンを使ったもの。

（1）まず、ベーコンを熱湯で3～4

分付け、余分な脂肪と塩を除く。次に、これを5センチ程度に切る。

（2）これを少量の油で、ミリン、砂糖、醤油で味付けし、皿にとる。

（3）たまねぎを2～3個細切りにし、油でいため、柔らかくなつたところで、味付けしたベーコンを加え、さらに炒める。

これを温かいご飯にかければ、「即席すき焼き丼（ハンガリー風）

（M. T.）

# ハンガリーのケーキ屋さん

前編

ショートケーキ（生クリーム）風のものを使うととっても美味しい！

観光地にあるだけあって、お値段は少々高めかな…？

マースが美味しい評判のお店

上原 智子

ハンガリーのケーキといえども

と甘すぎて…とおっしゃる方に、今は日本人でも口にあうケーキを売っているお店をご紹介します。

Augustt アウグスト・ウ

(Bp. II. Feny u. 8)

モスクワテールの市場の近く

美味しさ☆☆☆☆

値段 ☆☆☆☆

種類 ☆☆☆

日・月定休日なので注意してください。

☆今、一番私が気に入っている、穴場のケーキ屋さんは…

Relli レイリイ

(Bp. VIII. Riumei ut. 5)

東駅から徒歩4分

美味しさ☆☆☆☆

値段 ☆☆☆☆

種類 ☆☆☆

日本人でもこれは美味しいと言える味です。ケーキ一個79 Ftで安い！

ただ種類もいろいろあるけれど、日本人の口に合うケーキの種類は4種類程

CAFÉ MOZART カフェ

モーツアルト

(Bp. VII. Erzstbet Krt 36)

市電4・6のプラハルイーザからマ

ルギット橋の方向に徒歩4分ほど

美味しさ☆☆☆☆

値段 ☆☆☆

種類 ☆☆☆☆

このケーキ屋さんもやはり日本人の口に合うのは4種類程度。あとはやはり甘いめ。誕生日ケーキを作つてもらうとなかなか良いです。

東駅から徒歩4分

いろんな種類があつて、西欧風のお店。

一つのケーキの大きさが、他の店よりも大きい。その分、値段も少々高め(250 Ft ~ 350 Ft)。

ジャンボエクレアもあるけど、これは

イマイチ。

ただ女の子のユニークームがとってもかわいくって美人が多いのが特徴。

Ruszurm ルスウルム

(Bp. I. Szentthromsi ut 7)

美味しさ☆☆☆

値段 ☆☆☆

種類 ☆☆☆

# 隨想

## ハンガリー体験談

渡辺 正直

4年間のハンガリー駐在を終え、この4月に帰国することになりました。

この度は、断筆宣言をしていた私に、ドナウ通信への執筆依頼が舞い込み思ふ悩んだ末、ハンガリーでの広々とした体験談でも御紹介できればと思ひ筆を執る決心をした次第です。

私は伊藤忠と古川電工のJ/VであるFURUKAWAS ELECTRIC COMPOSITE INSULATOR KFTに勤務しており、マーケティングを担当しております。この会社は1960年代からハンガリーの技術者が研究・開発して来た、シリコーン碍子を製造、ハンガリー、日本、ヨーロッパ諸国の電力会社に販売しております。

体験談その(1)は、ハンガリー電力会社のシリコン碍子売り込みで、日々

本式商法、即ち貸し・借り、義理と人情が果たして通じるか否かのお話です。

新会社の工場が完成し、開所式が盛大に行なわれたのは95年の4月初旬でした。あれは確か4月下旬頃だと記憶しておりますが、ミシュコルツ市の電力会社からシリコン碍子を購入したい、就いては価格ネゴするので来て欲しいとの連絡が入りました。

「やったぜ！ 初荷だ！」と喜び勇んで

この電力会社を訪問したのです。会議室に通されると購買部長以下8名が、今や遅しと我々の到着を待っておりました。席に着くなり、自己紹介をし、ドリンクを飲み干し商談開始。購買部長が何やら長文の資料を出してハンガリー語で話を切り出しました。このムードはかなりの金額の商談の様です。

私は全くハンガリー語が理解できないので、同僚のハンガリー人に通訳をしてもらい、会議を進めました。

手元に届いた引合用紙を訳してもらつて驚きました。「何でわざわざミニシ

ュコルツまで呼び出して、こんな会議をするんだ？ こんな商談電話一本で出来るじゃないか！」と怒りが込み上げてくるくらい、ナジョン・ナジョン小額の引合だったのです。

私は「お客様は神様です」という某演歌歌手の台詞を数回復唱、怒りを抑えて考えました。

この部長は部下の手前いい格好をしたいだろうし、恐らく上司からは安く買い叩けと命令されているに違いないありません。引合の金額を除けば、この部長の話は真だし、なかなかの人物であると思われたので、ここは「貸し」を作ろうと決心して次のよう説明しました。

「我々はこの引合を、会社にとっての初荷にしたいと考えております。従いまして、如何なる価格でも受けますので価格は貴社で決めて下さい。後日正式注文書を頂ければ品物は即納品致します。

先方は拍子抜けした様子でしたが、今にして思えば、この部長だけは私の

説明の意味を良く理解していたと思います。

こうして先方の希望通りの価格で契

約が決まり、初荷が出荷されました。

荷物には初荷の印として紅白のワイン

を付けました。それから2カ月ほど経

つて、再びこの電力会社から引合が出て

され、又々、価格ネゴするのでミシユ

コルツへ来いとの連絡が入りました。

シリコン碍子を使用した結果が良かつたのでしょうか。今回は怒りを抑える必要のない金額でした。

然し乍らネゴはさすがに厳しく、両

者いつ退席してもおかしくない雰囲気

にまで連れ込みました。もう交渉決裂

と思われたその時に、購買部長が、次

のように発言してくれたのです。「今

回は我々が貴社の価格をRECEP T

しましよう。ここまで真剣にネゴした

のですから、手ぶらで皆様をブダペストまで返す訳にはいきません」。

何と言ふ作り話の様な話でしょう！

でもこれは実話なのです。この購買部

長は現在ダイレクターに就任され、そ

してこの電力会社は、我々にとつて最大の顧客になつております。

体験談その(2)は、涙無くしては語れない、ある出張先での感動した出来事です。

我々の会社の標語は「QUICK-ACTION & REPLY」。この標語を掲げ、少しでも御客様との距離を短くしようと努力してきました。あれは96年2月だったと思います。ボーランドの電力会社からシリコン碍子使ったプロジェクトを計画しているので仕様書、予算書作成に協力して欲しいとの依頼が入りました。

上述した標語を掲げている以上、即出張せざるを得ません。同僚のエンジニアと打合わせを済ませ、彼と一緒に車で出張することにしました。

あいにくその日は曇り空で寒く、雪の降り出しそうな天気でした。

車は一路北へ向って走り続け、ハンガリー・スロバキアのドノバレスキー場も無事通過。この頃から雪が降り始め、

辺りも暗くなつてきました。この分だとボーランド到着は遅くなる、急がねばと思った瞬間、降り始めた雪の為にタイヤがスリップし、車は畑の中へ一直線。土に埋もれ、全く動けなくなつてしましました。参った！どうしよう！？夕暮れが近づき、通る車も疎らです。近くに町も村も全く連絡をとる手段もありません。乗用車ではとても引き上げることは出来ません。牽引車かトラクターが必要です。

途方にくれる日本人とハンガリー人。

「QUICK-ACTION」などという標語が恨めしく思えてきました。とにかく、車を捨て、ヒッチハイクしてでも何処かに辿り着かねばと思いつ道に出た、その時です。

何と大きなトラクターが来るではありませんか。正に天の助けです。手を千切れにばかりに振り助けを求めました。

相手はスロバキア人で、我々と会話をする共通語が見つかりません。想像

するに次のような会話をお互いの母国語でしたと思います

スロバキア人

「どうしたね？旅の人」

我々

「助けて下さい。車がスリップして畑に突っ込み動かんないです。」「これからボーランドまで行くんです。」

スロバキア人

「そりや氣の毒に。車を引っ張るワイヤー持つとるかね？」

我々

「ありますが、太いワイヤーでないと無理ではないかと…」

スロバキア人

「大丈夫、大丈夫。何とか引っ張り出してやっから。」

我々

「宜しくお願ひします。」

会話が終るやいなや、このトラクターは畑の中へ突進し、埋もれている車に

ワイヤーを掛けると一気に道路まで引張り出しました。

何と親切な人なのでしょう！

このスロバキア人に何度も御礼を言い、失礼だとは思いながらも100ドル札を御礼の印に渡そうとしました。

ところがどうでしょう。彼は全く受け取らないのです。それどころかさっさとトラクターに乗って走り去ってしまったのです。まるで映画のラストシーンの様でした。

この話も信じられないかも知れませんが、ノンフィクションなのです。この他にも紹介したい面白い話は多数あるのですが原稿の枚数にも制限がありますのでこの辺で筆を止めます。



## 私の語学学習

海外協力隊 杉本 巨

今までに学習した（もしくは学習しかけた）外国语は結構ある。英語から

始まり、高校生の時にロシア語、大学でフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、中国語、大学を卒業してからトルコ語、ペルシャ語、ハンガリーに来てからハンガリー語、エスペラント語、ルーマニア語、スロバキア語、こう書くと、いかにも私は頭が良さそうだが、そんなことはまったくない。ただ気移りしやすく、飽きやすいだけだ。その証拠に3年いてもハンガリー語はうまくならないし、英語やフランス語になると日常会話でさえ危うい。

一番長く付き合ってきた外国语は英語にほかならないが、私は英語は苦手だ。コミュニケーションの手段として非常に有効的なのは認めるが、好きにはなれない。自分が英語ができるとい

いう劣等感がその根の部分にあるのは確かだが、それ以外に、教室でのお付き合いが長すぎたんじゃないかと思っている。それで、今でも英語を母国語とする人の英語を聞いていると、テレビコマーシャルが話しているような錯覚に陥ることがある。私にとって英語は人格を持った言語ではないのだ。この点で、エスペラント語とていて。実際、現時点では、英語はエスペラントの創始者ザメンホフの目指した「コミュニケーションの手段としての言語」として機能しているといつてもいいので、私が前のように感じてもおかしくはないだろう。

一方、私の中で英語と対極的な位置

にある言語は中国語である。というのも、6年前、まったく中国（中国語）を知らずに、ひょんなことから中国を2か月旅行した時に、中国語を体で感じたからだ。ニーハオ、ツァイチエン（再見）シエシエ（謝謝）という挨拶言葉も、四声（中国語——ここでは北京

語を基礎とした普通話）で呼ばれる標準語——は4つある声の高さで意味が変わってくる。「媽屬馬」は母馬と読み、母が馬を罵るという意味だが、「馬屬媽」は馬母で馬が母を罵るという意味になるのは有名な例。）のあら中国語では発音によって意味が変わってしまうたりする。

また、日本語にない発音も多く、トイレ（廁所）、駅（火車站）、日本人といったよく使う言葉さえ、うまく発音できず、結局筆談になる。2か月のほとんどを筆談でどうにかしたが、最後の最後に目の前がぱッと明るくなるようなことが起きた。再現してみると以下のようになる。

（ホテルのフロントで鍵をもらおうとして）

私 小姐、小姐！（すみません、ちょっとお姉さん！）

女 我不是服務員。（私はスタッフじゃないですよ。）

語を基礎とした普通話で呼ばれる標準語——は4つある声の高さで意味が変わってくる。「媽屬馬」は母馬と読み、母が馬を罵るという意味だが、「馬屬媽」は馬母で馬が母を罵るという意味になるのは有名な例。）のあら中国語では発音によって意味が変わってしまうたりする。

私 ??? (???)  
女 我不是服務員！我・不・是・服・務・員！（私はスタッフじゃないんです。スタッフじゃないんです。）

私 呀！好、好了！（あー！そうですか、じゃあいいです。）

それまでに数字はどうにかわかるようになっていたが、「我不是服務員。」というような文が自分の中に入ってきたのはこの時が初めてだった。ヘレンケラーが「水」という言葉の意味を知った時の感動もこうだったんじゃないかなと思った。2か月かかる頭の中のバケツにためられて中国語の知識が、この時溢れ出たのである。こういう感覚は初めてで、少し不思議な気持ちだった。

中国の空気を直接吸いながら私の中に中国語は入ってきた。机の上で学習したことがない言葉が自分の中で意味を持った。中国語は私にとって、活き

た言語だった。中国語を聞くのも、書

くのも、口にするのも私はとても好きだつた。ハンガリーに来てからは残念なことに中国語とは疎遠になつたが、

今でも中国語は自分の中でうごめいているし、日本に帰つたらもう一度勉強し直したいとも思つてゐる。

不思議なことに私はハンガリーで日本語教師をしている（中国への派遣も希望した）。ここ的学生に私が中国で感じたようなことを感じてほしいと思うが、あらためて、自分の無力さと日本との遠さを感じる今日この頃である。

セーケシュフェーレバール  
ハンガリーで生活を始めて、あつという間に半年が過ぎてしましました。主人の会社がブダペストより西方に約100kmのモールという田舎町にあり、ブダペストからは通勤不可能ということで、ここ“セーケシュフェーレバール”に居を構えました。私達二人と猫一匹、ブダペストの日本人社会と交わる機会もほとんどなく、言葉という大きな問題もあるし、昨年8月に赴任したときは本当に不安を抱えてのスタートでした。反面、今までにない経験ができるかも知れない、と何かワクワクした気持ちもありました。どこの国でも同じだと思いますが、都心に比べ田舎は何かと不便ではあります。都會では忘れ去られた楽しみ方を人々は知っています。ここではその中の

大隅 三七重

ハンガリーで生活を始めて、あつという間に半年が過ぎてしましました。主人の会社がブダペストより西方に約100kmのモールという田舎町にあり、ブダペストからは通勤不可能ということで、ここ“セーケシュフェーレバール”に居を構えました。私達二人と猫一匹、ブダペストの日本人社会と交わる機会もほとんどなく、言葉という大きな問題もあるし、昨年8月に赴任したときは本当に不安を抱えてのスタートでした。反面、今までにない経験ができるかも知れない、と何かワクワクした気持ちもありました。どこの国でも同じだと思いますが、都心に比べ田舎は何かと不便ではあります。都會では忘れ去られた楽しみ方を人々は知っています。ここではその中の

一つ二つを紹介しようと思います。たとえば会社関係のパーティーに出席した時の事。場所はいわゆる公民館で、参加者が自家製のワイン、手作りのお菓子などを各自が持ち寄るといつた質素なものです。アトラクションでは市の少年少女吹奏楽（社員の子供さんも出演）、その後はダンスパーティーに変身、そして朝方まで踊り明かします。

また、近所の友人に先日ハイキングに誘われたときの話。車で30分程行つた所に丘陵地帯があり、そこで春先に咲く白い花を摘もうというものです。この花は、雪の季節が終わる頃、溶けた雪の下から顔を出す小さな花で、雪の花、と呼ばれているそうです。現地では大勢の家族連れが競うようにして雪の花を摘んでいました。クリスマス前に隣家で豚を屠殺しているのを目撃したときには、こんな所には住んでいられない、と震えあがつた私でしたが、住めば都、今ではすっかりこの町の生活が気に入つてしましました。



日本に帰った時に浦島太郎になつて  
いる自分を想像すると心配ですが、今  
は出来るだけハンガリーの田舎の生活  
を楽しみたいと思っています。

## 雪は天からの手紙

勝岡 宣夫

「雪は天からの手紙である」こんな  
ロマンチックで科学的な言葉を残した  
のは、「中谷宇吉郎」さんという日本  
の物理学者で世界で初めて人工の雪の  
結晶を作った人。

雪は白くて、軽くて、やさしそうだ  
が、時にはとんでもない災害をもたら  
すやつかいもの。

電気を送る送電線にたくさんの中の雪が  
つき、その重さで電線をちぎり切つた  
り、鉄塔を倒したりすることがある。  
どうして電線にそんなにたくさんの雪  
は付くのか、防ぐにはどうしたら良い

か、そんな研究をやっていた頃読んだ  
「雪」という本の中にこの素敵な言葉  
が出てくる。

雪は遙か高い空の上で生まれた氷の  
結晶が一緒に落ちる他の結晶と絡み合  
いながら、ひと塊のなつて地上に舞降  
りるもの。これを良く観察すると、結  
晶の形、絡み合い方、等から結晶が生  
まれた上空の気温や温度、舞降りる途  
中の様子を語りかけてくれる。だから  
「天からの手紙」。

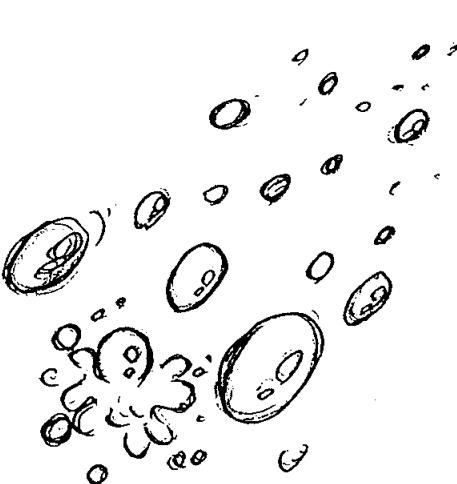
スペースシャトルでの日本最初の宇宙  
実験が人工雪だったことを覚えてい  
ますか？失敗したけれどなかなか素敵  
な思いつき。

「雨」は雪が解けて水滴となつて、  
隣同志くつつきながらだんだん大きな  
水滴となつて地上に降り注ぐもの。

ビサの斜塔から小さな鉄の玉と大き  
な鉄の玉を同時に落とすと、ドスンと  
一緒に落ちた事から「ものが落下する  
速度は同じ」、これは空気抵抗を無視  
できる場合。雨の場合は空気抵抗が働

いて大きな雨粒が小さな雨粒より早く  
落ちる。だから大きな雨粒は小さな雨  
粒に追い付いて合体してさらに大きな  
雨粒になる。これを繰り返していると  
しまいにはスイカのような特大の雨粒  
になって、一粒当たつただけでびしょ  
濡れになる…、と言う事は無い。

実は落下中の雨粒は小さいうちは表  
面張力で丸い形をしているが、大きくな  
るに従いあんパンのように平べった  
くなり、さらにベレー帽のように真ん  
中がへこみ、やがてパチンと（きっと  
こんな音がしているに違ひ無い）二つ



以上に分裂する。

だから一粒でびしょ濡れの雨は降つてこない。雨粒の大きさが一定以上にならないのだから、落ちる速度も一定以上にならない。びようそく 8 m 以上の雨は降らないようで、これも中谷宇吉郎さんが高い建物の上から下まで煙突のような細長い筒を取り付けて、筒の途中に小窓を開けて、そこから上から落とした水滴を観察してつきとめた科学的な事実。身近なことで案外分かっていないことはたくさんある。これを知るために観察が大事である、と中谷宇吉郎さんは言っている。また、冒頭に「ロマンチックで科学的」と書いたが「科学的」とは一体どういう事か。答えられそうでなかなか難しい、これも中谷宇吉郎さんが易しく解説している。中谷宇吉郎さんはえらい！。

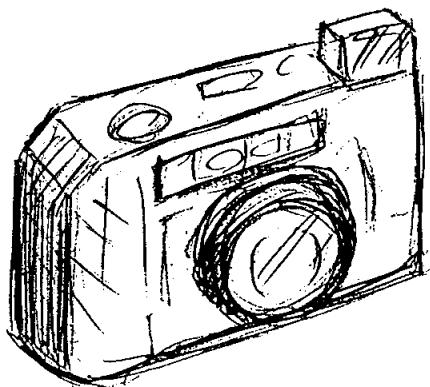
最後におまけ、雨垂れを

●●●の方があつまんないが正解

に近い。

## 病気になつた話

丸中 博史



状態です。

ブダペストでエチエリを知り、頻繁に訪れる様になつてからも当初の興味は刃物でした。ところがこちらの刃物は日本のハガネの様な光と切れ味は持つていません。それでつい浮気心で手にとったのがソ連製のカメラでした。

骨董屋のおやじによればライカのコピーだと言う。と言ってもライカの有意味は知らないた訳ですが、なかなか

どうも病気に罹つてしまつた模様なのです。と言つても熱が出るわけでもなければどこも痛くもなく、ただ嬉しくなつてしまふものとして、いえアタマの病気じゃありません、クラシックカメラ病らしいのです。感染したのはエチエリの骨董屋街です。

兆候は以前からありました。ここに来る前に住んでいた浦和のさるお寺で毎月第四土曜日に開かれる骨董市で、日本刀の一部だと言う赤錆びた鉄の棒を五千円で（騙されて）買ったことがあるのですが、家に持ち帰り砥石で研いでみると妖しい光を放ちよく切れます。これで掘り出し物を見つけるというヨロコビを見い出だしたことが、今この病気の裏地になつたものと思われます。ですからクラシックカメラ病に罹る前私は刃物病でした。というより、今も刃物病は続いていますので、併発

形がよろしい。それにソ連が作ったド

イツ有名ブランドのコピーというのがいかにもハンガリーらしくて尚よろしい。

1万30000フォーリントを9000

0フォーリントにまけさせて、明日から

真面目に働けば90000フォーリント安いもんだと思い買いました。ところが

後日エチエリに行つて驚きました。先

日買ったコピーにそつくり同じ本物へ

順序が変ですが）7万70000フォリ

ントで売られている。見てみるとやは

り本物はいいなと思う。何回か日を改

め思いあぐねた結果、ほんの少しまけ

させて、明日からもつともつと働こう

と決心して本物を買つてしまつたので

す。この時点で、初心者のよくかかる

ウイルス・L独逸型に感染してしまつ

た模様なのです。ちなみに入門編として他にR、Cの各独逸型があります。

その後もう一台仲間が増えました。

私より少し若い54年製で、操作性完璧、カラーも美しく仕上がります。四十肩も五十腰もないらしいのです。機

械の素晴らしいです。

魅力は素材と手作りの造形の美しさ、写真を自分で作ることの楽しさだと思います。

見て楽しい、触つてうれしい、使ってヨロコビのこの病氣、あなたもいかがですか。

「もう少し安くなりませんか。」緊

迫した交渉が続く中、思い切つて核心

をついてみた。すると市長は、思い口

を開いて「実は深い事情があつて、これが限界なんです。」理由を聞いてみ

ると、市にあるRoyal Palaceがソ連軍

の駐留で大きなダメージを受け改修に

巨額のお金がかかるとのこと。市民は

それを何とか改修し、沢山の観光客に

来て欲しいと願つている。市長として

はそれをどうしてもかなえたい。「このPalaceの改修に市の将来がかかっているのです。」力強い言葉であった。

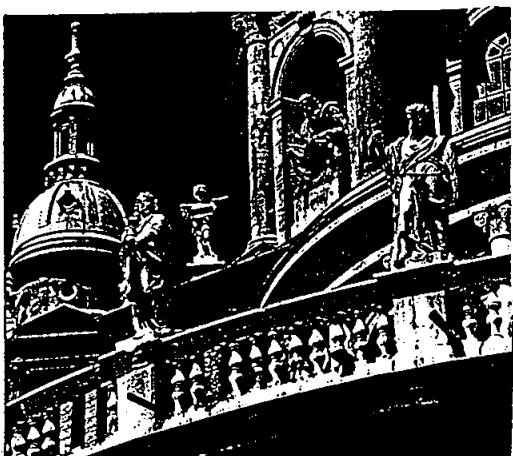
実はこれ、ソニーが工場進出を果たした、ブダペストから東にM3で30キロ

のところにあるグウドウルー市での投資交渉の一幕なのです。

## グウドウルーの

### Royal Palace

村野一



Royal Palaceの歴史は古く、174

年に当時の貴族アンタール・グラシヤールコビッチが自らの館を建て始めたことの遡る。グラシャールコビッチはその他にも数多くの教会などをつぎと建て、小さな村であつたグウドウルー発展の基礎を築いた。しかし、その繁栄も長続きはせず、1867年にはベルギーの銀行に売り渡されてしまつた。幸い1867年に買い戻され、当時オーストリア皇帝かつハンガリー国王であったハプスブルク家のフランツ・ヨーゼフに寄贈された。フランツ・ヨーゼフは、館をRoyal Palaceとして改築し、女王エリザベートや子供達と一緒に好んで春と秋を、ここで過ごした。Palaceの周りには、鉄道、ガス工場、ホテル、銀行など次々に建てられ、グウドウルーは繁栄を極めた。

しかし、1944年ソ連軍が駐留しPalaceを野戦病院、倉庫として使い始めてからはPalaceは破壊、衰退の一途

をたどつた。1990年にソ連軍が引き上げていった時には、手のほどこしようもない程になつてしまつていた。

市では、政府の援助を得て復興財団を設立し、ソニーも投資を通じて改修に貢献している。その後、第1次の改修も無事に終り、Palaceが一般の人公開されるようになつた。パロック調の豪華なたたずまいの建物の中にフランツ・ヨーゼフやエリザベートなどの写真や調度品が飾られている。フランツ・ヨーゼフの館の方は、深紅の壁に豪華な絵画の数々や机が、またエリザベートの館の方は、彼女の愛した紫色の壁、素敵な調度品の数々が並べられている。後に自殺してしまつた二人の子、皇太子ルドルフの子供の頃の写真も飾られていて、カフェやコンファレンス・ルームもあり、将来はホテルの建設も予定されているとのことです。

皆様も是非Palaceを訪れてみてはいかがですか。行き方はM3をグウドウルーで下がり、市内の方へ向かい、

HEYの線路を越えたところにあります。電車では田代のグウドウルー駅前です。



# 文 化

これも楽しみ

横山 勝雄

新年号の「オペレッタの楽しみ」の続編という強いお勧めもあり、オペレッタに限らず私の楽しみ方について若干アラカルト的に紹介し、皆様のハンガリー生活のご参考としたい。半日のみ時間を割けた関係で、俳優名確認など出来ず意を尽くせない点悪しからず。

## 1 年末の観賞三昧

当家は昨年末当地滞在してみた。マイナス18度という寒気。家族総出の雪かきといったことの他にも大いに楽しみを味わった。

クリスマス当日は、Vigszínház（意味はコメディシアター）で、「オズの魔法使い・OZ A CSODA JK CSODA JA」のミュージカル（マチネ）。この劇場はマルギットkrt 沿いで外観も中も大変美しい。地下のカフェとトイレが古き

良き時代の趣味で統一されていて、雰囲気ある。オズも楽しい。ベビー装束のダンサーがomaru の上で踊つたり微笑ましい。ロボット役の俳優好演。

とあることでヨーカイ・テール通りかかった。Kolibri という小劇場に一団の人が吸い込まれていく。ポスターが奇抜だし聞いてみると、大変面白いし、年内は今日だけだという。結局晩飯を返上で見ることに。"KI LOPTA EL A NEPET ?" 「民族を誰が盗みましたか」という前衛的な要素もある劇。アルパード統領を一人の人が演じ、彼等がいろいろの時代に違う歴史上の有名な王、将軍、芸術家等を演じて進んでいく。舞台袖の出っ張り2階部分が照明ボードになっていて、ナレーター役の鶯と狼役が良くのつかる。

白鳥役の女性のレオタード姿を下から見上げるのは珍しい。エゲール城のトルコとの攻防戦や変わったところで、マダガスカル島へ行って王様になつたというハンガリー人の話、ゾンビやディズニーのポカホンタスまで出て

きたり、劇中劇でアルパードが飛び出してきたりで、ハチャメチャに楽しむ。

晦日には、リスト音学院の

Sylvester 公演。国立交響楽団の納会の行事とか。オペラ歌手の出演もあって楽しい。一年 ZENEAKADEMIA に通つて、最後の公演を見るというのもなかなかおつなもの。

大晦日には、観劇の梯子をした。まず、Madách劇場のミュージカル Macskák （キャッツ）。この劇場は、エリザベートkrt 沿いのモーツアルトカフェの向かいあたり。男性猫の人たちはジャンプ力も抜群で好感が持てた。筆者はNY、ロンドンでも見たが、それなりにブダペストのも楽しめた。家族は、歌はともかく踊りが良くないとのこと。ただ、最後に昇天する前にメモリーのテーマを歌うグリザベラ役が、かなり大柄な方で歌はいいが見た目が、かなり頂けなかつた（しかし他に3人の歌い手がいるとのこと

道行く子どもたちは、たぶん悪鬼払いと思うが、ブーイングの笛を楽しげに吹き交わしている。私も二つ買って吹いてみた。さて、家族は帰してここから第2部のオペレッタ劇場の年末公演へ。これが10時半から。プリマドンナのジュジヤ・カロチャイら一线級は年末恒例のミュンヘン公演で不参加だが、残留組のオペレッタ俳優・ミュージカル俳優の他著名（なのだろう）な歌手が多数出演してなかなか楽しめる。12時を迎える頃になると、起立。時報と共に国家を歌う。隣のおばさんがキスを交わしに来てこれをする。寝たのが、夜1時半。さすがに眠い頃。

さらに隣のTVカメラが入って盛況のディスコ「ムーランルージュ」も冷かして、元旦の朝にトランで帰着した。

## 2 オペレッタの楽しみ（承前）

正月2日にウィーンはフォルクス・オーバーで、ヨハン・シュトラウスII

世の「ウェイン気質・Wiener Blut 独り見」。シュトラウスのワルツやボルカを織り込むために台本が構成されたような感じ。筋書きを追うよりおなじみのメロディーを楽しむタイプ。

田舎の親父とマリツヴァ伯爵令嬢を見た。ほとんど居眠りをしていなかつた！なお、某邦人で、本名曲のお好きな方がウェインで映画仕立てのビデオを購入されたのを頂いた。これも面白い。室内と「メリーハイドー」を見た。今回は、吉幾三（似）でなく、大変な2枚目の少し声が通らない歌い手Gyozo LEBLANC（一応CDも出している）が主役。

3月は、「スプリング・フェスティバル」。オペレッタ劇場でも地方都市の劇団が来て技を競った（らしい）。生憎来客・会合があつて、ようやく一つだけミシコルツの劇団によるシュトラウスII世の「こちもり・Die Fledermaus 独」を見れた。ウィーン・オペレッタの黄金時代を飾った筋も曲

も大変練られた作品。銀行家の別荘、仮面舞踏会会場、刑務所の3幕もの。銀行家には、前出のLEBLANCが出演。ロザリンデ夫人役のEdit PIRISI、女中アデーレ役Zsuzsa CSONKAが良かつた。弁護士と刑務所の看守の一人二役を演ずるPeter VIDAの酔っ払い看守役が醉狂！で秀逸。劇場は笑いの渦に。2幕目の終わりに、登場人物全員が舞台前面に進んで、コーラスをしているとき、幕が後ろで閉まる。これがとてもない音響効果を發揮する。女性ソプラノが劇場全体に響き至る。一瞬忘我、天井の宴の音かくやという一瞬が確実にあった。あまりのこと間に、ブルボーをかけることさえ出来なかつた。

結局最後のアンコールフィナーレのときもう一度やつてくれた。この時観衆は。指笛を鳴らし、歓呼した。なお、97年元旦本場ウェインでは、ステートオバーもフォルクスオーバーもこの演目で始まっている。数あるシュトラウスオペレッタの中でも別格と言う

べきか。

見られなかつた中で、名曲がいくつもあつた。レハールの「ルクセンブルグ伯爵・LUXEMBURG GRÖFFJA」。ハン

ガリ一人作曲家SZIRIMAIの「MAGNUS MISKA」（今回はセゲドの劇団。たまに、Vig劇場でも上演中）、同じくシユト・ラウス晩年の傑作「ジプシー男爵 ZIGEUNER BARON」。またのお楽しみとしよう。

3 冬から春スプリングフェスティバルへ

正月3日はウィーンのステートオーパーで、「くるみ割り人形」をみた。秀逸。

Vig劇場で「West Side Story」を見た。これは題名が英語！ベルナルド役の禿頭の長身のLászló MÉHESが素晴らしい。親父が1週間ブダペストにいたが、この間、通常の観光コース以外にオペレッタ。バレー（「真夏の夜の夢」現代風のセクシーな演出。必見！）

）、コンサート（リストのオーケストラ席に座るもの）、温泉2か所、サーカス、市民公園を楽しんでもらつた。

映画は子供に任せて、あるいは日本でも見れると抑制基調でいたが、ハンガリー建国を主題にした“HONOGALLAS”と彼の“EVITA”をCorvinで見た。この映画館はハンガリー動乱の時的一大大きな激突のあつたところ昨秋新装オープンしたが、客席の足前がゆつたりしてて、座っていても前を通り。是非一度お試しあれ。

3月14日からイースターにかけブダペストのスプリングフェスティバル。オープニングのダンスアラカルト（於いてVig）が良かった。民族舞踊だけでなく「1992年モスクワテール」というたいへん面白いダンスがあった。オペラ座シーズンチケットのコンサートでJózsef LENDVAIというバイオリンリストの素晴らしい演奏があつた。TV撮影も入つた。ウィーン少年合唱

團を初めてペスティヴィガド劇場で聞いた。声変わり前の少年の歌うのは少し苦しい。アンコールで、シュトラウスの名曲前出の「ウィナープラウトなどがかかると盛り上がつた

昨年のリスト国際ピアノコンクール2位のIgor KARENZUアノリサイタルが、王宮の丘の科学アカデミーコンクレスホール（ここは、帝国時代の臨時国会の部屋とのことで厳肅にされる。）であった。ハバロフスク生れでドイツに移住した天才型のピアニスト。母親っ子で、今回の演奏の間も母親が見守っていた。車の窓拭きまでして貧乏しながら苦労したこと。梅村裕子さんがアエラに書かれた記事を人づてに頂いたが、昨秋地元の新聞に、「リストの曲に全く新しい解釈を与えて演奏した。クールドの再来か。」と書かれたとのこと。私も家内も彼の準決勝の演奏を聴いて狂喜した。授賞式では、2位に終わってがっくりしたのか、登場が遅れただけでなく、ようや

く出てきたらライトがまぶしいとクレーム。5分の小曲で下がってしまったことも見ている。また、一説には、少年時代からロシアでオーケストラの「驚嘆すべき指揮者」だったとのこと。という曰く付きのカーメンツだけに、スプリングフェステイバルのプログラムに彼の名を発見したときの喜びは大きかった。当日後半、上着を脱ぎ、チャイコフスキーや、ムソルグ斯基の「展覧会の絵」を弾いた。観客は熱狂し、結果アンコール曲5回の演奏となつた。私にもし有り余る財力があれば、彼につき込んでみたいと思うような芸術家である。ピアノを勉強している方が聞いたらその才能というか違ひに圧倒されてしまわいか心配になるようなものである。順調にいけば、高名な演奏家となろう。また、一定の芸術家の目は少し常人と違うというたぐいの観察をしているのは私だけではない。

国立ハンガリー交響楽団の常任指揮者・音楽総監督の小林研一郎さん指揮

の春の最初のコンサートを行つた。T



V撮影のカメラのためか、開演20分前にリスト音楽ホール全館停電。ようやく修復して30分遅れで演奏が始まつた。バルトークビオラコンツェルトは繊細でやや難しいが、ベートーベンのシンフォニー7番に酔つた。停電というハプニングが冬とすれば、電気が付きました演奏で、心にも春が来た。アンコールのブラームスのハンガリー舞曲の1番、ダニーボーイ（いわゆるロンドンデリエラー）も素晴らしい。また楽しい経験を増やしてもらった。

## エピローグ

楽しみシリーズ2回目はいかがでしたか？冗長をお許しあれ。人気を博したゲーム大会電気式ダーツマシンのことをふれたかったのが割愛。こんなに夜熱心でこの人お屋は大丈夫と？残念ながら心配には及びません。ほかにも、スポーツ、旅行、写真、読書、会話、パーティ、歌、友人、手紙、手帳、俳句、発見、…。おののがた、それとしても人生の楽しみは尽きないものですな。「仕事も楽しみ」で「毎日旅行気分で暮らすといい」という主義の私ですが、皆様はいかが？人生において如何に“Must”以外のこと“Better”を充実できるかが幸せの実感に関係しているのでは？もちろんMustをクリアした上で。我らはみんな「楽しみ」発展途上人！一生是勉強！日々是改善！そしてご愛読多謝！

上澄みの やうなこと」と

重ねたる

# スポーツ

落合・尾崎は日本のひ弱さの象徴

「卑民は衣食足りても礼節を弁えず」

盛田 常夫

世界に通じない日本のプロ

尾崎と落合、この二人はスポーツ選手として、どうも好きになれない。尾崎などは同じ年齢だから、もう少し親近感があつてもいいと思うのだが、日本人の弱点を象徴しているようで、嫌になる。日本では一流でも、世界で全く通用しない。

落合のミート術は大リーグでも通用するだろうが、彼のような中距離ヒッターは走力と守備力がないとレギュラーにはなれない。DHはパワー不足でとても務まらない。走れない、守れない中距離ヒッターが、どうして日本を代表する野球選手なのか。お腹が膨れ

た体で、ニヤニヤしながら、のそのそ動く姿はとてもスポーツ選手には見えない。

大リーガーたちは体は大きくて、動きは早い。それだけ基礎トレーニングを積んでいる。野茂だって、アメリカへ行ってから大分、スリムになった。伊良部は江川のように膨れた腹をしているが、かなり絞り込まないと大リーグではやって行けないはずだ。走り込みやウェートトレーニングに力を入れている日本のプロスポーツ選手はきわめてわずか。

そろそろ外人枠などという規制を撤廃して、日本のプロ野球市場を開放したらどうだろう。野球の日米不平等条約が存続する限り、大リーグとの世界決戦などできるわけがない。

ゴルフは「高級ゲートボール」  
もともと日本のゴルフ界など、歴史

が浅いし、すぐれた運動能力をもつてゐる子供はゴルフなどやっていない。  
大体が、私立大学のゴルフクラブの坊ちゃん連中がプロになっているだけだから、参入障壁が低い。だから、野球選手としての抜群の体力を持っているのが入ってくると、すぐに連勝、連勝ということになってしまふのだ。尾崎の体を見ていると、とても鍛えたスポーツ選手のそれじゃない。相撲取りのような体でパワーはあるものの、国際トーナメントで4ラウンドこなすだけのスタミナがないではないか。

そもそもゴルフなどスポーツと呼べるのか。キャディに吸いかけのタバコを手渡してプレーする尾崎や青木などの見ていると、これはもうただの「高級ゲートボール」。そんな遊びに巨額の賞金を支払えるのも、1億接待ゴルフの日本ならでは。若いプロゴルファーには、グレッグ・ノーマンのような体に鍛え上げ、精進してもらいたいものだ。

## 節制できないスポーツ人

スポーツと呼ばれるもののうちで、ゲーム中にタバコを吸いながらでもできるものはゴルフだけ。野球選手にも喫煙者は多いと聞くが、さすがにグラウンドの中では吸わない。ダッグアウトの外で吸うのだ。相撲取りのなかにも喫煙者は多い。しかし、タバコはスポーツ選手にとって、百害あって一利なし。この基本的な自己節制ができないスポーツ選手は最初から落第だ。

酸素の摂取量は持続力を高め、競技力を維持する決定的な要素だ。喫煙は酸素摂取量を決定的に減退させるから一流選手に喫煙者がいないのと同じ。もつとも例外はある。一時、カラスの後継者とまで騒がれたシャッショ・シリビアはかなり前からさっぱりだが、そもそもそのはず彼女はたいへんなヘビースモーカー。声が出ないのは無理もない。それではなぜ、野球選手や相撲取りの競技にタバコが障害にならないのだろうか。両者とも競技自体が瞬間

的な動きから構成されており、酸素摂取量の向上が絶対的な競技条件になつていいからだ。腹が出ていても、瞬間的な力や技能が発揮できれば、競技者として生き残れる。持久力より、瞬発力が優先する世界だからだ。落合や江川の腹が出ていても、打ったり、投げたりする瞬発力と、技能に優れていればとりあえず支障はない。スポーツ選手として長続きするか、魅力があるか、世界で通用するかは別の問題なのだ。

ゴルフの運動量は、何もしないより

散歩したほうが良いという程度で、体力の向上にはならない。それでたばこがより美味しいとなるとすれば、健康の収支決算はマイナス。「ゴルフは身体に良い」というのは怠惰なサラリーマンの自己暗示。

## 知性を育めない日本人

節制を怠り、基礎トレーニングを嫌う野球人、プロゴルファーは、自己鍛錬を忘れ、飽食に生きる日本人そのものではないか。落合、尾崎はわれわれを象徴しているだけ。昔の貧しさを忘れ、今の豊かさに溺れている日本人。着る物も食べる物も一級品、だが行動様式は国際的に見て何流なのだろうか。

日本の経済力の水準と、社会の成熟度や国民の行動様式は調和しているだろうか。どこかおかしくはないだろうか。「衣食足りて、礼節を知る」というが、今の日本人は「衣食足りて、豚になる」ではないだろうか。日本人が「アニマル」と呼ばれる所以だ。

このギャップは一体なんなのだ。経済力に反比例した日本人の存在感の軽さ。要するに、個人としても、国家としても、日本はまったく成熟していないのだ。戦後のアメリカ占領で、骨抜きにされたのかも知れない。アメリカに強姦されて、反米がいとも簡単に親米になり、身も心も骨抜きにされた結果がこうではないか。

集団行動を優先する日本社会も、個人の自立を妨げてきた。集団ゲームに

慣れた日本人は、組織に一員として発言できても個人として発言できない。

サラリーマンであれ、政治家であれ、官僚であれ同じ。自立できない、大人になれない日本人。それが現状だ。

大学生のレベルも同様。欧米の学生と議論できる学生は何人いるだろう。

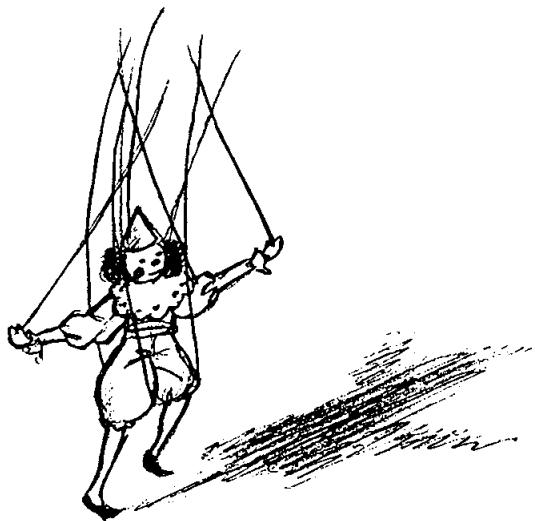
5000円もしない教科書を買うのをためらい、1万円近いゲームソフトにお金を叩く。知能指数は低くないが、国際的な知性はゼロ。夫婦別姓など関心のない女子学生。結婚して名前が変わるのが嬉しいとはしゃいでいる幼稚なレベルにある限り、女性の自立も国際進出も100年先。

電車のなかで漫画面本をにやにや見ているサラリーマン。訳の分からぬテレビのどたばた番組。どうでも良いタレントを追いかけるメディア。それを毎日、朝から見ている主婦。「少女青春」を「援助交際」と形容する社会。「たまごっち」などに沸き返る日本。いったい、日本人は賀くなつてい

るのか。馬鹿になっているのか。日本社会は限りなく幼稚化してはいないだろうか。「富栄えて、民滅びる」。

尾崎や落合と世界との距離。それが

今の日本人の実力。日本社会の今の到達点ということ。日本が国際的に一流国家になる日は遠い。



## “ワイ・ガヤ”テニス大会

馬場 勝久

去る3月22日（土）男女合わせて26

名ものテニスプレーヤーがローマイに集まりプレーを楽しんだ。日頃テニスをエンジョイしている方に、老若男女を問わず、上手な人もそうでない人も一度皆で集まってワイワイ・ガヤガヤとテニスを楽しみましょう、と呼び掛けたところ、予想外に大勢の方の御参加を得て、大会を開催することができた。

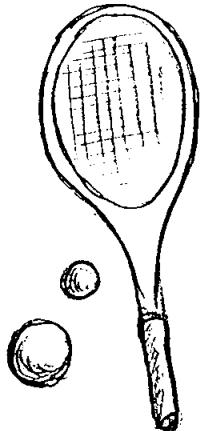
この大会はまた、テニス同好会メンバーである渡辺氏（伊藤忠）、山崎氏（協和発酵）が日本帰国される送別大会も兼ねて行われた。ゲーム方法は、男女ミックスペアを中心総当たり形式とし、しかも試合毎にペアも組替え出来るだけ多くの人とプレー出来るようとした。意外な方が意外に上手であつたりなかなか楽しい大会であったと

思います。

大会後の夕食会も特別注文の中華料理でテニスの話題を中心に盛り上がったことも付記します。

今回御参加戴けなかつた方も多くおられる事から、ハンガリーの日本人テニス人口は潜在プレーヤーも含め想像していたより多いこともわかり、以前「テニス同好会がメンバー不足で危機」と訴えた小生としては心強い限りです。

出来れば、また今回のよう、ワイ・ガヤ、大会を企画しテニスを楽しむ機会を作りたいと思いますので、その際は是非ご参加戴きますようこの場を借りてお願い致します。



## ジョギングしよう

初めて走り始める人は、距離ではなく、走る時間を見るのが良い。最低20分は走り続けるように、コンスタントにペースを調整する。自信がない場合は、早足でとにかく20分続けることから始める。脈拍が120～140位の状態を20分ほど続けることができれば、確実に酸素摂取量は増えていく。

週3回は必要。

3～4キロ走る場合、100メートルのラップは35秒が一つの基準。1500～2000メートルを走る場合は、100メートルのラップを30秒程度に設定する。これを基準に目標を作ると良い。いざれ市民ロード大会などに出てみたいという人は、100メートルを25秒前後で、2～3キロ走れるスピードが欲しい。ちなみに、24秒で走れば、1500は6分、20秒で走れば5分。マラソン選手は平均して18秒

程度で42キロ余を走り抜ける。長距離の走り方は短距離とは違い、踵から着地し、足の裏全体を路面に付ける。その際、膝で衝撃を和らげるようにする。こうすることで、足首、膝、腰へのダメージを最小限にすることが必要。タバコを吸っている人はタバコを辞めることが前提。そうしないと、走れないはず。

年をとれば、スプリント力はなくなるからスピードは落ちる。スピードを付けるためには、一定の距離を走った後、100メートルあるいは200メートルのダッシュを10回ほど繰り返す。これは長距離の選手がスピードを付ける練習と同じ。

水泳でも、ジョギングでも、進歩に応じて、自分なりの目標を立ててやるのが良い。そうすることで、単調な鍛錬に楽しさが加わるだろう。常に少し苦しい練習（負荷）を課すことが、体力の向上を生み出す。

# 掲示板

○ハンガリー語教えます。またベビーシッター致します。

ELTE2年生のハンガリー人女性が、ハンガリー語、または英語を日本語にて教えます（日本語能力試験2級あり）。またベビーシッターも可能です。関心のおありの方はTEL290-17814（夜のみ）、または061-88-409-460（終日可）宛てMs. Gyöngyi KANYAR（ヨーニアール）にご連絡下さい。

○職探し

今年3月、千葉大学法経学部を卒業したハンガリーの青年が職を探しています。高校はアメリカで、当地では経済大学を卒業しています。連絡は編集部まで。

## 出警官を装ったスリにご注意

昨年来、一人が外貨交換を誘い、次いでもう一人が警官を名乗り財布のチエックを要求するという2人組のきわめて単純なスリに、相次いで日本人が犠牲になっています。チエックのあいだに、お金が引き抜かれるのです。旅行者や、短期の出張者などが犠牲になっています。

外貨の交換、警察を名乗る人物が現れたら、まず相手にしないことです。しつこい場合には怒鳴るか、「ボリース」と大声で叫ぶのが効果的です。人通りの多いところではこれで済みますが、路地の場合には早めに大通りに出るのが先決です。

正規の警察官は写真付きの正規の身分証明書を持っていますので、私服の警察官から尋問される場合には常に、相手の名前、身分証明書番号を確認する必要があります。ふつう、私服の警察官がふつうの通りで尋問することはありません。

## 日本人会よりお知らせ

本号は昨年の日本人会名簿にもとづき配布しておりますが、次号より今年度の会費を納入された方のみに配布いたします。まだ、振込みが済んでいない方はできるだけ早く、会費の払い込みをお願い致します。

## 編集室

情報原稿をお寄せ下さい。

次回の発刊は7月初め。原稿締切りは6月末日。

TEL / FAX : 266-4967